



2012年8月23日

独立行政法人国立がん研究センター
アフラック

国立がん研究センターとアフラック、がん情報の普及啓発に関する 包括的連携協定を締結

独立行政法人国立がん研究センター(理事長:堀田 知光、東京都中央区、以下「国立がん研究センター」)とアフラック(アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長:外池 徹)は、双方が有するがんに関する情報提供と普及に向けた取り組み、全国に広がるネットワークを活かし、国民に対するがんに関する情報の提供を協働して行うための包括的連携に関する協定を締結しましたので、お知らせいたします。

本協定は、広く国民に対するがんに関する情報の提供を行い、国民のがんに関する意識の向上を図りながら「がんと向き合う社会」を目指し、それによって全国のがん患者とその家族の不安と苦痛の軽減および、療養生活の質の向上を実現することを目的としています。

本協定で包括的な提携関係を構築することによって、今後のがん情報の普及啓発を迅速かつ効果的に進めることが可能となります。国立がん研究センターは、保有するがん情報提供と相談支援におけるノウハウおよび経験と成果のうちアフラックのがんに関する普及・啓発方針に合致するものをアフラックに提示し、両社協議のもと(1)一般市民向けのがん啓発 および(2)がん診療連携拠点病院相談支援センターへの支援、(3)がん啓発ツールの制作を共同で進めます。

国立がん研究センターは1962年に開設され、日本におけるがん治療および研究をリードする機関ですが、2006年にがん対策情報センターが開設され、インターネット、冊子、患者必携などによって、がんに関する情報を一般向け、専門家向けに発信するとともに、全国のがん診療連携拠点病院(397箇所、2012年8月現在)に設置されている相談支援センターと連携し、患者・家族・国民の視点に立った情報提供と相談支援の取り組みを実践しています。一方、アフラックは、がん保険のパイオニア企業として、「がん・医療」を社会貢献活動の重点テーマと位置づけ、がんに関する独自の市民啓発イベントや全国に広がる支社や同社の販売代理店網、さらに自治体との提携に基づくネットワーク構築と協働を精力的に展開しております。

国立がん研究センターとアフラックはこれまでも個別のテーマを通じて協力関係を維持してまいりました。今回の合意により、さらに緊密な関係が構築され、連携と協業がより一層推進されていくことが期待されます。協定締結を前に合同会議を開催し、国立がん研究センターとアフラックとの間で意見交換が行われ、本協定の戦略および今後の方向性について議論されました。

両者は、高い情報発信能力を通じて、患者・家族・国民の方々に一日も早く信頼できるがん情報を提供するという使命を共有しています。本協定により、両者の協力体制が拡充され、がん情報提供と相談支援の取り組みが大きく前進することを確信しています。

以上

本件に関するお問い合わせ先	
独立行政法人国立がん研究センター 総務部総務課広報室 TEL: 03-3542-2511(代表) URL: http://www.ncc.go.jp/	アフラック 広報部広報課 鈴木・石井 TEL: 03-5908-6410 URL: http://www.aflac.co.jp